

日本分光学会 近赤外分光部会 第 18 回シンポジウム
「可視・近赤外・赤外光を用いた生体計測の技術開発」のご案内

可視から赤外の光は、生体にとって低侵襲であり、生体の計測に適した光であることから、これまでに分光学的な手法をはじめとして研究開発が行われてきました。可視光は皮膚表面近傍の色素成分の測定、赤外は呼気などに含まれるガス成分の分析にすぐれています。一方で、近赤外光は、ヘモグロビンの吸収帯（可視光）と水の吸収帯（赤外光）の間の波長帯域であることから生体の透過性が高く、「生体の窓」とも呼ばれており、皮下組織への応用が期待できます。このように波長帯域によって異なる光の吸収特性を利用することで、様々な応用が考えられています。本シンポジウムでは可視光・近赤外光・赤外光のそれぞれの光を用いて生体計測技術の開発・研究が行われている 4 名の先生をお招きして、講演していただきます。

主 催 公益社団法人 日本分光学会 近赤外分光部会

協 賛 近赤外研究会, 日本分析化学会

日 程 2024 年 10 月 9 日（水）13:00-16:50（受付は 12:30 から）

場 所 中央区立産業会館 3 階 展示室 （東京都中央区東日本橋 2-22-4）

交 通 <https://www.chuo-sangyo.jp/access>

都営浅草線 東日本橋駅 徒歩 4 分／都営新宿線 馬喰横山駅 徒歩 5 分／

JR 総武快速線 馬喰町駅 徒歩 6 分／JR 総武線 浅草橋駅 徒歩 7 分

参加費

分光学会・協賛学会会員：2,000 円 / 一般：4,000 円

分光学会・協賛学会学生会員：1,000 円 / 非会員学生：2,000 円

定 員 70 名

プログラム

13:00	Opening	
13:00-13:50	肌画像の色素成分解析とその応用	津村徳道（千葉大学・広島大学）
13:50-14:40	拡散反射分光計測に基づく中枢神経疾患・病態のリアルタイム観察	川内聡子（防衛医科大学）
14:40-15:10	休憩／企業展示	
15:10-16:00	局所筋酸素代謝を測る：光ウェアラブルセンサの開発と応用	小野弓絵（明治大学）
16:00-16:50	中赤外固体レーザーの開発とそのセンシング応用	上原日和（自然科学研究機構）
16:50	Closing	

参加申し込み方法

下記 URL ， QR コードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/NRJ4XSYDZD>



申し込み締め切り

2024 年 10 月 4 日（金）

これ以降のお申込みについては、下記問い合わせ先まで直接お問い合わせください。

参加費のお振込について

参加費をご確認の上、下記へお振込みください。その際、振込人名義は、参加者本人でお願いいたします。また、振込手数料は自己負担にてお願いいたします。

（振込先）

三菱 UFJ 銀行 名古屋駅前支店 普通 5903425

日本分光学会近赤外部会会長土川寛

10 月 7 日（月）以降のお申し込みについては、振込のご連絡をお願いいたします。あるいは、当日現金払いでお願いいたします。

シンポジウムに関する問い合わせ

日本分光学会 近赤外分光部会 服部祐介（横河電機株式会社）

問合せフォーム > <https://forms.office.com/r/1YCFsq8gJz>

協賛お申込みフォーム > <https://forms.office.com/r/ZseR0Qm6Qm>